



# 2018年度「連帯社会」連続講座

主催：公益財団法人 日本労働文化財団  
連帯社会研究交流センター

参加費無料  
要申込  
先着 30名

「連帯社会研究交流センター」は、連合、日本労働文化財団、労働者福祉事業団体、生活協同組合が法政大学と連携して設立した修士課程大学院コース「連帯社会インスティテュート」（通称：連合大学院）の支援・連携組織として、連帯社会構築にむけてのさまざまな研究交流の機会を企画・実施しています。

このたび、「連帯社会」に関わる研究者の方々に問題提起をいただく連続講座を企画いたしました。第1回は、小竹雅子氏をお招きして、「介護保険制度の現状と課題：NPOの視点を中心に」について、ご講演いただくこととなりました。ご関心のある方々に広くご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、会場整理の都合により参加者は先着30名様までとさせていただきますので、あらかじめご了承ください。参加申し込み方法につきましては、連帯社会研究交流センター・ウェブサイト上で行なう方法をとらせていただきますので、「イベント・シンポジウム」<<http://recss.jp/event.html>>をご参照ください。

## 第1回：介護保険制度の現状と課題：NPOの視点を中心に

日時 2018年10月6日（土）15：00～17：00（14：30開場）

場所 法政大学富士見坂校舎 F305 教室

### 講師：小竹 雅子 氏

小竹雅子（おだけ まさこ）氏のプロフィール

1956年生まれ。1981年より「障害児を普通学校へ・全国連絡会」事務局として、障害のある子どもたちの就学運動を支援。1996年、「市民福祉サポートセンター」に参加、電話相談活動の事例をもとに『介護情報ハンドブック』（岩波ブックレット）を執筆。2003年より「市民福祉情報オフィス・ハスカップ」を主宰。近著：「総介護社会：介護保険から問い直す」（岩波新書）。

### プログラム \*来聴歓迎\*

15：00～16：30 講演  
16：30～17：00 質疑応答

